

慈光



社会福祉法人 遠州仏教積善会
救護施設 慈照園 園長

左右田 雅子

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年、慈照園において職員による不祥事件があり、皆様方にはご迷惑ご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。内部牽制の体制を見直し、再発防止に取り組

んでおります。信頼回復のため努力しておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年4月には、生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者に対する支援が本格的にスタートしました。慈照園でも、

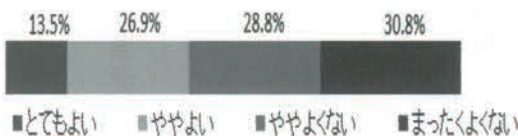
サービス評価アンケート ～集計結果報告・利用者編～

平成27年10月に、慈照園のサービス向上のため、利用者・デイサービス・並びにご家族の皆さまのサービスに対するご意見・ご評価を伺いました。

権利擁護の基本的な16項目については、概ね高い評価を頂きましたが、総合的な評価は、「ややよくない」「まったくよくない」という厳しい回答を多く頂きました。原因の究明に努力していますが、個別支援計画の「希望・要望」調査が不十分であると推測しています。

もっと一人ひとりの利用者向き合う時間を作り、自己実現に向けた取り組みと、きめ細かな対応をしていく必要性を感じました。

〈総合的な評価〉慈照園はあなたにとって、良いところだと思いますか？ (利用者52名回答)



信頼される社会福祉法人を目指して

慈照園ふれあいまつり

11月7日、秋空の下、慈照園ふれあいまつりが開催されました。ご家族、民生委員、ボランティア、元職員の総勢51名が来園されました。

近年、緊急入所や一時入所の利用に関する問い合わせが増え、実際の利用に繋がるが多くなっています。地域社会の要請に応えていくためにも、

今以上に利用者の皆様の自立支援や地域移行をすすめる、希望をかなえることのできる施設となるよう、努めてまいります。

午前の懇談会では、左右田丈夫会長と左右田雅子園長より、元職員による利用者の預金横領事件について、謝罪とともに、再発防止策の説明をしました。また、最近の取り組みについて報告をしました。

鴨江地区民生委員の方から、「居宅生活訓練の成果は出ていますか?」「利用者の満足度が低いのはなぜですか?」等、



活発な意見が出た懇談会

事業状況についての質問があり、今後の課題も頂きました。

午後は屋外でパーティーを行いました。寿司やおでんの模擬店が並び賑やかなムードの中、浜松奇術会様(代表佐野五さん)が、手品をご披露してくれました。また交流ゲームでは、全員が協力し合うゲームが行われ、楽しい時を過ごしました。

まずは、相手の気持ちになることから 権利擁護の実践学習

11月20日、職員研修にて権利擁護の勉強会を行いました。今回は園内作業場面を想定し、利用者役、職員役に分かれロールプレイ(役割演技)を行いました。

ロールプレイとは、疑似体験を通じてトラブルが実際に起こったときに適切に対応できるようにする学習方法の一つです。実際に利用者役をやってみる事や、同僚の演技を見ることで、自分の言葉遣いや言動が的確だったかも検証できます。

どんなに丁寧な言い方でも、職員の表情が硬いと、利用者には不快な印象を与えてしまう事や、気持ちに余裕が足りない時に荒っぽい言葉かけになりやすい事に気が付きました。利用者に対する感情表示の違いで、本人の精神状態を悪化させてしまう事にも注意が必要と講師からお話がありました。



お手本を示す鈴木指導員

こたま

ラグビーワールドカップにおいて、日本代表が強豪国を次々と倒すという競技自体の歴史も破り、日本代表が圧倒的に変える努力を競技場には、強豪国に對して堂々と戦う日本代表の選手の姿がありました。何かをする選択に迫られたとき、やらない理由、できない理由を探している自分に時々気づくことがあります。

「Can do(できる)」

浜松市議会議員 田中照彦

日本代表を率いた出口(ヘッドコーチ)のジョー合えるなど誰もが思っていない時代でした。先生から言われた言葉を延びてきた「自分たちは厳しい練習を課しながら努力の大切さを感じてい

「一流した汗は嘘をつかない」。高校時代に顧問の先生から言われた言葉を延びてきた「自分たちは厳しい練習を課しながら努力の大切さを感じてい」(法人理事)

